

## 2022年度（2023年3月期） 第1四半期連結決算概要および通期見通し

### 1.2022年度 第1四半期 決算実績 <対前期>

#### (1)決算実績のポイント

増収増益：増収は3期ぶり・増益は4期ぶり（純利益ベース）

都市ガス販売量	+82百万m <sup>3</sup> :工業用（発電専用）需要家の稼働増等
電力販売量	+1,571百万kWh :小売件数増および卸供給先の需要増による販売量増
売上高	+2,088億円 :原料費調整に伴う単価増などによる「エネルギー・ソリューション」の売上高増等
営業費用	+1,757億円 :原油価格上昇影響などによる「エネルギー・ソリューション」の原材料費増等
営業外損益	+84億円 :為替差益 +80億円等
特別損益	- :発生なし

(注)2022年4月1日に当社のガス導管事業等を当社の100%子会社である東京ガスネットワーク株式会社に承継させる吸収分割を行ったことにより、当社はガス事業会計規則に定める一般ガス導管事業者には該当しなくなったため、検針日基準から引渡基準へ会計方針を変更しており、2021年度に係る各数値は遡及適用後の数値を記載しています。

<2022年6月末現在連結会社数：連結子会社 102社、持分法適用関連会社16社>

決算実績表		2022年度1Q	2021年度1Q	増減	%
売上高	(歴代1位)	6,099	4,011	2,088	52.0
営業費用		5,587	3,830	1,757	45.9
営業利益	(歴代3位)	512	181	331	182.5
経常利益	(歴代3位)	577	160	417	259.8
親会社株主に帰属する当期純利益	(歴代4位)	384	104	280	267.0

<参考値> (符号は利益に対する影響を示す)

スライド差(※)	215	△118	333
年金数理差異償却額影響	△10	27	△37

(※)原料費調整制度において原油価格の上昇（下落）に伴う原材料費の増加（減少）が売上高の増加（減少）に先行することによる一時的な利益差異。

経済フレーム	2022年度1Q	2021年度1Q	増減
為替レート(¥/\$)	129.73	109.52	20.21
原油価格(\$/bbl)	110.80	66.95	43.85
平均気温(°C)	19.0	19.1	△0.1

#### (2)都市ガス・電力販売量

		2022年度1Q	2021年度1Q	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m <sup>3</sup>	657	653	4	0.6
	業務用	百万m <sup>3</sup>	446	440	6	1.4
	工業用	百万m <sup>3</sup>	1,393	1,323	70	5.3
	計	百万m <sup>3</sup>	1,839	1,763	76	4.3
	他事業者向供給	百万m <sup>3</sup>	361	359	2	0.4
	合計	百万m <sup>3</sup>	2,857	2,775	82	2.9

家庭用：春先の低気温影響による需要増  
業務用：新型コロナ影響等による需要減から回復傾向  
工業用：発電専用需要家の稼働増  
他事業者向供給：供給先稼働増

小売お客さま件数(千件)：8,689 (対前期△129) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。

取付メーター数(千件)：12,223 (対前期+120) ※取付メーター数は、導管事業者としてのメーター取付数。

		2022年度1Q	2021年度1Q	増減	%	
電力	小売	百万kWh	2,283	2,091	192	9.2
	卸他	百万kWh	5,145	3,766	1,379	36.6
	合計	百万kWh	7,429	5,858	1,571	26.8

小売：件数増による販売量増

卸他：卸先の需要増

小売お客さま件数(千件)：3,090 (対前期+302) ※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

#### (3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2022年度1Q	2021年度1Q	増減	%	2022年度1Q	2021年度1Q	増減	%
エネルギー・ソリューション	5,586	-	-	-	388	-	-	-
ガス(ネットワーク除く)	3,319	-	-	-	286	-	-	-
電力	1,532	811	721	88.9	40	36	4	12.0
ネットワーク	886	-	-	-	23	-	-	-
(概算値)エネ・ソリュ+ネットワーク	6,472	3,827	2,645	69.1	412	193	219	113.5
海外	350	205	145	70.3	160	53	107	199.9
都市ビジネス	149	140	9	7.0	40	42	△2	△4.5
調整額	△873	△162	△711	-	△87	△100	13	-
連結	6,099	4,011	2,088	52.0	525	188	337	178.5

(注)・「ガス(ネットワーク除く)」には都市ガス(ネットワーク除く)・LNG販売・トレーディングを含みます。  
・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含みます。  
・「エネルギー・ソリューション」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング、電力、インフラソリューション、ガス器具、建設、クレジット、情報処理サービス、船舶等を含みます。  
・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

#### (4)主要計数

(単位:億円、%)

	2022年度1Q	2021年度1Q	増減		2022年度1Q	2021年度1Q	増減
設備投資	446	467	△21	D/Eレシオ	1.03	0.98	0.06
営業キャッシュ・フロー	891	591	300	ROA	1.2	0.4	0.8
有利子負債	13,269	12,205	1,064	ROE	3.0	0.9	2.1

(注)有利子負債、D/Eレシオは2022年3月末との比較

### 2.2022年度 通期見通し <対前回(4.27)見通し>

#### (1)通期見通しのポイント

対前回 売上：増収 利益：据え置き 対前期 増収減益（純利益ベース）

都市ガス販売量	+244百万m <sup>3</sup> :発電需要増に伴う工業用の増等
電力販売量	△443百万kWh :卸向け販売量減等
売上高	+4,180億円 :原料費調整に伴う単価増などによるガス事業の売上増、販売単価増などによる電力事業の売上増等
営業費用	+4,180億円 :原油価格上昇影響などによるガス事業の原材料費増等
営業利益	±0億円 :販売単価増等による海外事業の利益増・ 電力市場価格高騰影響等による電力事業の利益減等

※2Q以降の経済フレーム（原油価格85\$/bbl→110\$/bbl、為替レート120円/\$→125円/\$）

(注)2022年4月1日に当社のガス導管事業等を当社の100%子会社である東京ガスネットワーク株式会社に承継させる吸収分割を行ったことにより、当社はガス事業会計規則に定める一般ガス導管事業者には該当しなくなったため、検針日基準から引渡基準へ会計方針を変更しており、2021年度に係る各数値は遡及適用後の数値を記載しています。

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	2021年度	増減	%
都市ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	12,642	12,398	244	2.0	13,146	△504	△3.8
電力販売量(百万kWh)	34,358	34,801	△443	△1.3	28,288	6,070	21.5
売上高	29,480	25,300	4,180	16.5	21,548	7,932	36.8
営業費用	28,080	23,900	4,180	17.5	20,274	7,806	38.5
営業利益	1,400	1,400	0	0.0	1,274	126	9.9
経常利益	1,270	1,270	0	0.0	1,363	△93	△6.9
親会社株主に帰属する当期純利益	920	920	0	0.0	957	△37	△3.9

経済フレームほか	今回	前回	増減	2021年度	増減
為替レート(¥/\$)	126.18	120.00	6.18	112.39	13.79
原油価格(\$/bbl)	110.20	85.00	25.20	77.15	33.05
平均気温(°C)	16.3	16.2	0.1	16.2	0.1
スライド差(億円)	207	279	△72	△6	213

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度(2Q以降) (単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	44	52	△8
原油価格JCGが\$1/bbl上昇	22	33	△11